

第15回

「農」と里山シンポジウム

さんとめ
～三富地域援農ボランティアの未来を考える～



さんとめねっと
三富地域ネットワーク

三富地域農業振興協議会では、この三富地域を中心とした畑作農業地域を対象とし、平地林の適切な保全、活用を含む地域の総合的な農業振興を図ることを目的に、シンポジウムを開催しています。

今回は、東京都心から約30km圏内に位置する三富地域の都市近郊農業の意義や課題、期待される援農ボランティアの役割、という観点から、三富(さんとめ)の未来を考えます。

ふじみ野市立産業文化センター
多目的ホール

(東武東上線「ふじみ野駅」西口から徒歩約6分)

2025/9/6(土)

13:00～16:00 (12:00受付開始)

入場無料 先着150名

※ 入場には申込みが必要です。
(申込みは裏面参照のこと)



【主 催】 三富地域農業振興協議会

【後 援】 関東農政局、関東地方環境事務所、埼玉県、川越市、所沢市、狭山市、ふじみ野市、三芳町
いるま野農業協同組合、世界農業遺産武蔵野の落ち葉堆肥農法推進協議会
NPO法人武蔵野の未来を創る会、公益財団法人トトロのふるさと基金、生活クラブ生協埼玉
公益財団法人森林文化協会

【協 賛】 株式会社西武不動産

基調講演

『農業の未来をひらく援農ボランティアの役割』



講師：北沢 俊春 氏（元一般社団法人東京都農業会議事務局長）

1955年生まれ。1979年宇都宮大学農学部農業経済学科卒業。

1979年東京都農業会議入会。

（2016年から「一般社団法人東京都農業会議に組織移行」）

2015年東京都農業会議事務局長。2019年3月定年退職。

退職後は、自作自食の実践や耕作放棄地の解消等の一助となるため援農ボランティアとして活動するとともに、武蔵野市農業委員会の委員も務める。

主要著作：「これで守れる都市農業・農地」（共著）農山漁村文化協会

「都市農業の変化と援農ボランティアの役割」（共著）筑波書房

パネルディスカッション

『三富地域援農ボランティアの未来を考える』

コーディネーター：北沢 俊春 氏（元一般社団法人東京都農業会議事務局長）

パネリスト：平塚 基志 氏（援農ボランティア経験者、早稲田大学人間科学学術院 教授）

内田 輝美 氏（援農ボランティア受け入れ農家、茶園「丸康園」経営）

小林 恵子 氏（援農ボランティア実践者）

開催プログラム

時 間	内 容
12:00 ～ 12:55	開場・受付
13:00 ～ 13:10	開会・主催者挨拶
13:10 ～ 13:20	来賓挨拶
13:20 ～ 14:40	基調講演 『農業の未来をひらく援農ボランティアの役割』 講師：北沢 俊春 氏
14:40 ～ 14:50	休憩
14:50 ～ 16:00	パネルディスカッション 『三富地域援農ボランティアの未来を考える』
16:00	閉会の挨拶

入場無料！

先着
150名様

8/29(金)
〆切

ネットからの申込みも
受付中！



さんとめねっと
インフォメーション

申込方法

参加者全員の①郵便番号・住所、②氏名、③電話番号を明記の上、
ハガキ・FAX・メールのいずれかでお申込みください。
（※定員になり次第、受付を締め切りますので、あらかじめご了承ください。）

申込み
問合せ先

三富地域農業振興協議会

（埼玉県川越農林振興センター管理部内）

〒350-1124

川越市新宿町1-17-17 ウェスタ川越公共施設棟5F

☎：049-242-1808

FAX: 049-243-7233

✉：r4218103@pref.saitama.lg.jp